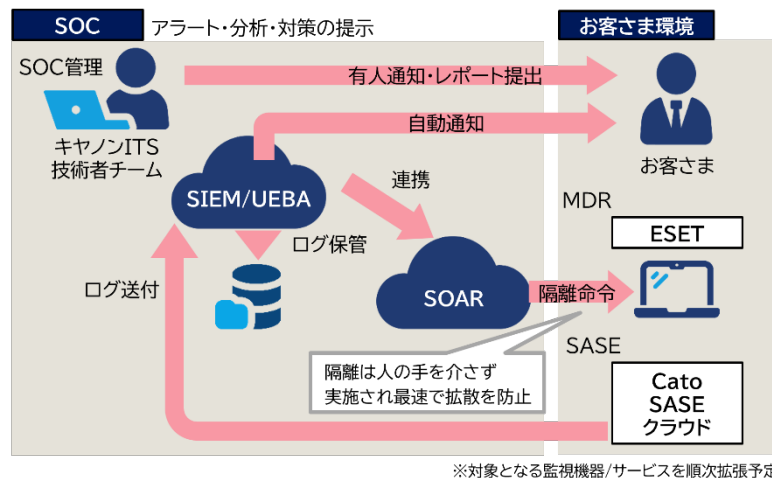


“Cato SASE クラウド向け SOC サービス”を提供開始 AI 相関分析により速やかなセキュリティ対策を実現

キャノンマーケティングジャパングループのキャノン IT ソリューションズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：金澤 明、以下キャノン ITS）は、IT インフラサービス「SOLTAGE」の新たなセキュリティ運用サービスとして、「Cato SASE クラウド」を対象とした SOC（Security Operation Center）サービスを 2026 年 3 月より提供開始します。



「SOC サービス」概要図

■背景

近年、インターネットに接続された IT 資産に対するネットワークとセキュリティ管理の高度化を目的として、SASE（Secure Access Service Edge）の導入/利用が進んでいます。しかし、SASE の運用には高度な専門知識と即時対応体制が不可欠であり、多くの企業にとって自社のみでの運用は困難です。このような状況のなか、常時異常を監視し、セキュリティログやイベントの適切な管理、脅威検出時の迅速な対処を行う SOC の役割を、外部の専門組織に委託する企業が増加しています。

■特長

“Cato SASE クラウド向け SOC サービス”では、「Cato SASE クラウド」による脅威検出およびその対策をお客さまに提供し、インシデント発生時には初動対応から恒久対応の立案、提案までを一貫して担います。また、「Cato SASE クラウド」の利用状況を定期的に分析し、セキュリティ観点からのレポートも行います。

AI を使用した相関分析による対処シナリオの自動提示

SOC に収集されたログ/発報されたアラートは AI により自動的に相関分析され、脅威度と緊急度を評価しインシデントをシナリオ化した上で、対処方法を提示します。

初動対応を自動化

AI による分析の結果、マルウェア感染などが疑われる端末については、SOC システムから端末にインストールされている MDR ソフトウェアに指示を出し、人手を介さず自動的にネットワークから隔離します。

人的リソースに頼らない運用

従来の人手による分析に依存した SOC とは異なり、AI による相関分析や自動隔離などの自動化機能を実装することで、SOC の外部委託でネックとなる利用料金の低減を実現しました。

■展望

キヤノン ITS は、IT インフラに関するすべての領域に対応するサービス「SOLTAGE」ブランドのもと、クラウドセキュリティ領域をはじめとするサービスのラインアップ拡充に継続して取り組みます。SOC サービスにおいては、連携対象サービスを順次拡充し、お客さまのネットワーク環境を包括的に保護できるサービスへと拡大してまいります。

サービス名	月額料金（税別）	発売日
Cato SASE クラウド向け SOC サービス	30 万円～	2026 年 3 月

-
- 報道関係者のお問い合わせ先 : 企画本部 コーポレートマーケティング部 コミュニケーション推進課 03-6701-3603（直通）
 - 一般の方のお問い合わせ先 : IT サービス営業本部 IT サービス事業企画部 03-6701-3513（直通）
 - SOC サービスホームページ : <https://www.canon-its.co.jp/solution/industry/cross-industry/sec/soc/>
 - ニュースリリースホームページ : <https://corporate.jp.canon/newsrelease>

IT インフラサービス「SOLTAGE」

クラウドインテグレーションサービス、ネットワークサービス、システム運用/保守サービス、セキュリティサービス、データセンターサービスを組み合わせて利用いただくことで、お客さまが保有するシステム全体の運用負荷を軽減し、コア業務へのリソース集中を実現する、IT インフラに関するすべての領域に対応するサービスです。

SOLTAGE ホームページ <https://www.canon-its.co.jp/files/user/solution/soltage/lp/>